

No. 1621

# 政権を担う党へ

——第55回社会党大会——

日本社会党の第55回定期大会が4月3日から5日まで東京・一つ橋の日本教育会館で開かれました。去年の参院選、今年の総選挙で長期低落傾向を脱け出したとあって支援団体の「連合」や市民代表のあいさつにも明るさが漂っています。

土井委員長は「国民が政権交替を求めている事を強く指摘した上で社会党が政権を担当能力のある政党へ脱皮する必要性を強調、党規約前文から「社会主義革命の達成」を削除し「社会民主主義を選択する方針」を表明しました。

党人事では三期目の土井委員長、山口書記長続投を軸に田辺前書記長を含む3人が新しく副委員長に選出されました。

公明・民社が「土井提言」に否定的であり連合政権協議再開が冷めて来ている中で社会党の今後の基礎的政権戦略づくりは厳しい状況を迎えそうです。

## 「花の万博」スタート

——大阪・鶴見緑地——

「人間と自然の共存」をうたう花の万博「国際花と緑の博覧会」の開会式が3月3日<sup>1</sup>大阪鶴見緑地の会場内「メインホール'90」で行われました。齊藤花博協会会長、海部名誉会長のあいさつのもと名誉総裁の皇太子殿下が「よりよい地球環境を次世代にひきつげるよう期待します」とのべられました。舞台は日本を含めて万博市場最高の81ヶ国の代表が華やかに登場、各国の親善と友好を深めました。

会場内は街のエリア、山のエリア、遊園地地区などに分かれ会場を一望できる屋外施設も人気を呼びそうです。

4月1日会場式のテープカットと同時に場内は人の波で埋まりました。9月30日の会期末まで2000万人の入場者が予想され春とともに花博人気が高まりそうです。